

ご相談は担当書記にご連絡ください
 担当書記：工藤 真由 080-5699-0138
 秋山 風夢 090-4246-1871
 メール：kudou@doken-shibuya.jp
 akiyama@doken-shibuya.jp

ほくぶの日々

発行：北部分会
 編集：北部分会教宣部
 住所：渋谷区幡ヶ谷2-18-6
 電話：03-6304-2315

ラピュタの森 猿島で見上げる天空



猿島のフェリーの待ち時間に公園内の三笠丸前に全員集合

ガイドさんのお話を聞いて、今現在も戦後の跡地が有り、その当時の方々の苦労、体験を知り、未だ真水が使えず、海水を使っています。今は電気は使えますが電気も無

達も参加してくれて、総勢57人のツアーで思い思いに楽しめました。

【分会教宣部 小泉 淳子】
 猿島は横須賀市の三笠棧橋から船で約10分程の東京ドーム1個分くらいの無人島です。
 島全体が緑に覆われて、天然の森や断崖、洞窟など点在していました。
 猿島と言うから猿が居たのかなと思つたら猿は居ません。伝説や神話に由来する様です。明治から太平洋戦争時代にかけて旧日本軍の要塞跡が多数残って、秘密のトンネル、砲弾跡、兵舎跡などがそのままの姿で保存されており、まるで「ラピュタ」や「ジブリの世界」の様だと人気になっているとの事です。散策は30分から1時間で周れる島でした。今回の参加者は1歳5歳6歳7歳9歳、11歳15歳等々、14人の子供達も参加してくれて、

7月27日、組織ファミリーイベントと平和のピースツアー合同の猿島無人島ツアーが57人で行われました。
 この島はかつて軍事要塞として機能していた歴史を持ち、現在はその遺構が残る魅力的な観光地です。
 北部分会は21人が同じ班で島めぐりを行いました。
 子供たちに戦争があった事を肌で感じてもらうイベントです。

猿島探検で平和を見つめる



猿島取材中の小泉淳子さんと夫・三郎さん

い生活をしていたそうです。今現在も世界中で戦争が行われ多くの犠牲者が出ています。
 未だに、どうして愚かな戦争を続けているのか。弱い国民ばかりが何もしていない人が犠牲になるのでしょうか。
 今年は戦後80年になりますが二度と同じ誤ちを繰り返さない様に子供達や孫、



軍事要塞の跡をガイド音声聞きながら探索

ひ孫達が犠牲にならない世の中。世界になつて欲しいと心の底から願っています。
 世界平和を切に願います。
 これからも世界平和活動を続けていきます。
 まずは自分が出来る事から皆さんで力を合わせて生きて行きましょう。

第45回幡ヶ谷社教館文化祭

令和7年10月25・26日(土日)

10時～16時

東京土建渋谷支部北部分会
 今年も北部分会は参加します
 皆で地域を盛り上げましょう

お知らせ

9月から拡大月間です。8月22日19時よりの京王ビアガーデンでも納涼祭を兼ねた分会別交流で、周りに組合に入ってくれそうな人を見回してください。よろしく願います。

北部分会役員一同